
東方井老君記

東方凧殺錄制作委員会

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

東方井老君記

【Zコード】

N2191V

【作者名】

東方魔殺録制作委員会

【あらすじ】

井老君なる青年がなんやかんやで幻想郷へ行き、そこで待ち受け
る強大なオリキャラ等と戦つたり、ほのぼのしたりする物語である。

井老君、死す。略してHOSYS（前書き）

嵐殺録 制作者の1人、双つの月と申します。

嵐殺録はいつか本当に弾幕STGで出したいなあ…と思つております

井老君、死す。略してIOSYS

俺の名は井老君 神ノ介。

突然だが、俺は死んでしまった。

理由は簡単。

突然空からロードローラーが落ちてきたんだ。

何が起こったのか理解出来ないまま、俺は死んでいった。

そして今、俺の前には全力土下座しているワーマンらしき男がいる。

井老君「さっさと顔を上げて、何が起こったのか説明してくれ」

「え、えーとですね。」

そのワーマンが話すには、あのロードローラーは、実は事故で俺の頭上に降ってきたらしい。

「で、事故つていうのは一体どう言つ事だ？」

「こちらの手違いで、貴方の隣を歩いていた人に車が突っ込んでくる。というものだったのですが、車はあまりにも可哀想なので、せめて自転車にしようと思ったらロードローラーになってしまい。ヤバい！と思つて方向転換させたらその先に貴方がいたわけですよ」

「つまりお前はなんらかの能力を保持している、とでもいうのか？」

「バカにしてますね？私はこんなナリでも最高神なんですよ？」

「はいはい、わかつたわかつた。で、どうして俺は素直に天に召されないわけ？」

「いえ、こちらの手違いで死んでしまったのはあまりに「o.k.」

k わかつたから

「要約するとですね、何か能力あげて転生させようって感じなんですよ」

「どんな世界でもいいのか?」

「ええ、どんな世界、どんな能力でも構いません!」

「じゃあ、全部おまかせで」

「えええ!? おまかせなんかでいいんですか?」

「いいんだよ、別に」

「…わかりました。では、転生を開始しますね」

この時、俺はおまかせなんて言わなければよかったです。等と後悔することにならうとは、思いもしなかった。

井老君、死す。略してEOSYS（後書き）

次回「俺と月夜とえーりんと」『N'uf』期待！

俺と月夜といつも（前書き）

意欲が湧いてくるので、続けて更新

俺と月夜とえーりんと

ザアア……

どうやら、雨が降っているようだな。

「無事に転生出来たようですね」
うおっ！ ピックリさせるなよ……

それと、なんのようだ？

「まずはこここの世界の説明を……」

いや、いい。

自分でこの世界を見て回りたいからな。

「そうですか、それでは能力ですが、」
ふむ、それは少しきになるな

「元素を司る程度の能力。らしいです」

ちょっととまて、～程度の能力ってことはここはまさか幻想郷か！？
「いえ、どうやらまだ幻想郷というところはないみたいですね」

そうか、まあ、いい。

能力が判明しただけでも良しとしよう。

「では、私はこれで……」

ああ、じゃあな。

それからなん年たつただろうか。

俺に妹が出来るひじい。

関係ないことだと思っていたが、違った。

ここは八意家、というらしい。

八意で思い当たるキャラといえば、そつ。

「へーん。可愛い子だなあ、よし。名前はどうつか

俺「永琳、でいいんじゃないか？」

「よし、決めた。この子は永琳だ！」

そういえば一次創作で産まれて直ぐに言葉を喋った。

なんて記述があつた「父上、母上、よろしくお願ひします」

やつぱりな。

「い、い、い、今この子喋つたぞ！」

俺「わー、凄い。おめでとー（棒読み）」

それだけ言つと、俺はさつと部屋から出していく。

いつのまにか空は真っ暗になつていた。

俺「…おまかせで、なんて言わなければよかつたかもしれないな…

…」

多分、この後は月への移住計画ができるはずだ。

それまでは俺が、永琳を守つてやるか。

そうして、井老君は闇に溶けていった……

俺と月夜といつんと（後書き）

次回「紅蓮に染まりし時」ひづこ期待。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2191v/>

東方井老君記

2011年10月9日09時03分発行